

# CNF (セルロースナノファイバー)の商品化技術と今後の展開

日時  
2019年 1月25日 (金)  
10:30 ~ 16:30

会場 産業科学システムズ会議室 (東京都千代田区富士見1-5-1)

講師 東京農工大学大学院 農学研究院・特任准教授  
博士(農学)堀川 祥生氏【1】  
第一工業製薬(株) 研究開発本部 ライフサイエンス開発部  
レオクリスタ開発グループ 専門課長 後居 洋介氏【2】  
金沢工業大学 大学院工学研究科 高信頼ものづくり専攻  
教授 影山 裕史氏【3】

## 受講料

1名 45,000円+税  
2名以上1名 42,000円+税  
案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分  
JR中央線(緩行線)  
地下鉄東西線(A5出口)  
地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)  
都営地下鉄大江戸線(A4出口)

## <お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX 電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名 住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルはお受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

## 主要プログラム

- 【1】CNF(セルロースナノファイバー)の構造・調製・応用について
- ・樹木の階層構造
  - 1. 組織・細胞構造 2. 細胞壁構造 3. 微細構造
  - ・セルロースの構造と多様性
  - 1. 結晶構造 2. 構造多様性と天然分布
  - ・セルロースナノファイバーの調製
  - ・セルロースナノファイバーの応用
- 10:30 ~ 12:30
- 【2】セルロースナノファイバーの水系機能性添加剤としての応用
- ~増粘・乳化・分散用途での機能と機構
  - ・CNFの水系添加剤としての開発
  - ・水系添加剤としてのCNFの機能発現機構と応用例
  - 1. 増粘剤として a. 増粘機構 b. 実用例の紹介
  - 2. 乳化剤として a. 乳化機構 b. 応用例の紹介
  - 3. 分散剤として a. 分散機構 b. 応用例の紹介
- 13:30 ~ 15:00
- 【3】自動車のバイオプラスチック利用動向とセルロースナノファイバー展開の可能性
- ・自動車を取り巻く環境の変化 1. CO2問題 2. CO2規制
  - ・CO2と樹脂
  - 1. 軽量化の必要性和樹脂化の促進(内装材~CFRP)
  - 2. 樹脂自身のLCA改良の必要性
  - ・バイオプラスチック利用動向(トヨタ自動車の例)
  - 1. バイオプラスチックと自動車
  - 2. バイオプラスチックの課題と対策例
  - ・セルロースナノファイバーの可能性
  - 1. セルロースナノファイバーの意味
  - 2. セルロースナノファイバーの期待と展開
- 15:00 ~ 16:30

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ  
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675  
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 CNFの商品化技術と今後の展開

セミナーコード

1101-190125

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2019/1/25 ISS

社名	所在地	〒	電話	( )
No.	所属部課(正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
				( )
			FAX	-
窓口部署			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト( ) その他				